

## 沖縄県商工労働部企業立地推進課の公の施設に係る指定管理者制度運用委員会 賃貸工場等指定管理者のモニタリングの実施結果について

- 1 日 時 令和4年7月8日（金）午後2時00分～午後2時30分
- 2 方 法 W e b 会議（沖縄県庁14階商工労働部会議室）
- 3 出席者 委員長 沖縄国際大学経済学部教授 島袋伊津子  
委員 大城税理士事務所所長 大城逸子  
委員 (株)沖縄産業振興センター 部長 玉那覇正美  
委員 (株)ナノシステムソリューションズ 代表取締役 稲住仁
- 4 検証事項  
うるま地区内賃貸工場及びうるま地区内企業立地サポートセンターにおける指定管理者のモニタリングの実施結果について
- 5 検証内容
  - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは、適正になされているか。
  - (2) 指定管理者に対する県の指導及び助言は、適切に行われているか。
  - (3) 利用者アンケート及び苦情に対する指定管理者又は県の対応は、適切に行われているか。
- 6 検証方法
  - (1) 事務局（企業立地推進課）のモニタリング報告
  - (2) 質疑又は意見 質疑又は意見者 指定管理者制度運用委員会4名  
回 答 者 事務局又は指定管理者
- 7 主な質疑又は意見
  - (1) 【委員】

産業まつりへの出展については、新たな取り組みで素晴らしいと思う。企業からの要望があったのか、指定管理者の方で呼びかけたのか。

【指定管理者】

指定管理者からの呼びかけと同時に、入居企業の方からもぜひ出展したいという要望もあった。

【委員】

創業・操業支援業務の実績として780件の対応を行ったとあるが、何名で対応したのか。

【指定管理者】

3名で対応している。適宜入居企業の方に訪問し、適切に対応している。
  - (2) 【委員】

修繕に係る優先順位はどのように決定しているのか。

【指定管理者】

消防等、安全性に係る修繕を最優先とし、次に空調であったり雨漏りといった各企業の操業への影響のある不具合を優先している。

【委員】

細かい修繕は先延ばしにすることも多々あるのか。

【指定管理者】

今回、4年間で初めて収支が黒字になったが、細かい修繕を止めているというの

もある。入居企業の満足のいく修繕に達していないところもあるが、指定管理者としてマイナス収支を続けるわけにもいかない。今後とも沖縄県と調整しながら対応できる範囲でしっかり対応していきたいと思っている。

【委員】

修繕の業者はどのように選定しているのか。

【指定管理者】

業者は事前にこういう修繕はこういう業者にと、2、3社用意しており、その中から見積もりを徴収して一番安い業者をお願いしている。

修繕後は報告書を提出してもらい履行確認を行っている。

【委員】

どのような修繕が多いのか。

【指定管理者】

最初は雨漏りが多かったが、最近ではどちらかというと空調やシャッターといった機械に関する修繕が多くなっている。

【委員】

予防的な修繕も行っているのか。

【指定管理者】

予防修繕までは追いついていない。不具合が発生しているものに対する修繕を行うことで精一杯である。修繕については先ほど話したとおり、優先順位をつけながら実施している。

【委員】

コロナ過において賃貸工場内で感染があった場合の対応方法は。

【指定管理者】

賃貸工場は各工場が独立しているので、感染について指定管理者に届け出る必要はないと整理している。感染対策方法等については指定管理者の方から周知を行っている。

(3) 【委員】

アンケート調査の中で、道路や歩道側の植栽整備に注力いただきたいとの意見があるが、整備は誰が行っているのか。

【指定管理者】

道路等に関しては県や市といった道路管理者の管理下にある。指定管理者からは、道路管理者に対し、できるだけ綺麗にしていきたいとお願いしているところ。

【委員】

アンケート回収率54.5%は低いという印象。100%にするためにも個別で面談等を行い、細かい情報を拾い上げるということも必要だと思うが。

【指定管理者】

今回は催促が足りなかったと感じている。より積極的に、入居企業への訪問を行い、回収率の向上に繋がられるよう対策を取っていきたい。